

対策の概要

(1) 駐車箇所利用平準化（車種別満空情報の提供）

東京～名古屋間の休憩施設にFFアンテナ等を整備することで、リアルタイムに、すべての休憩施設の車種別満空情報を目で見えるハイウェイテレホン、VICS等で提供していきます。

<FFアンテナ>



<車種別満空情報の例（情報板、目で見えるハイウェイテレホン）>



休憩施設混雑情報	
8/12 11:05 現在	
- 東名・新東名上り - 休憩施設の駐車場の現在状況について提供しております。	
● 浜松いなさIC	↓ [1.33km]
● 浜松SA	↓ 駐車場 大型《満車》小型《空有》
● 浜松浜北IC	↓ [3.70km]
● 遠州森町PA	↓ 駐車場《空有》
●	↓ [3.39km]

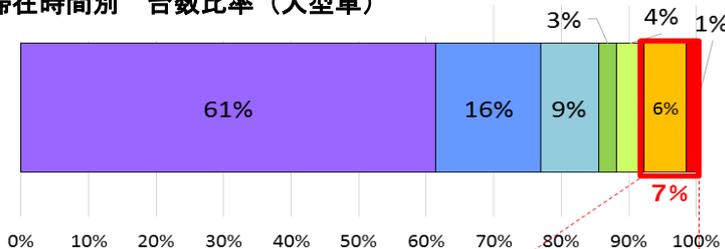
(2) 長時間駐車抑制のための広報・啓発キャンペーンの実施

新東名・東名の休憩施設においては、大型車の長時間駐車により、深夜帯の駐車不足が誘引されています。例えば、海老名SAでは、**全体台数7%の長時間駐車（6時間以上）が全滞在量の55%**を占めています。

利用者の方が効率的に休憩を取っていただけるよう、こうした長時間駐車抑制や利用マナー等の広報・啓発キャンペーンをおこなっていきます。

<東名高速の休憩施設混雑状況（海老名SA）>

■ 滞在時間別 台数比率（大型車）

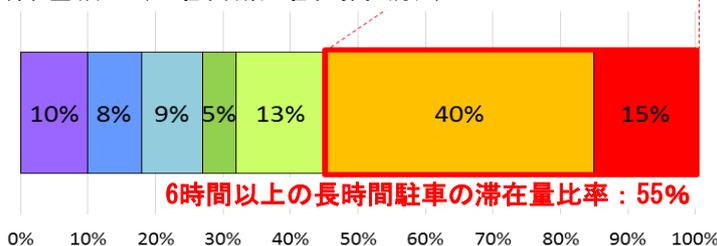


■ 大型車マス混雑状況



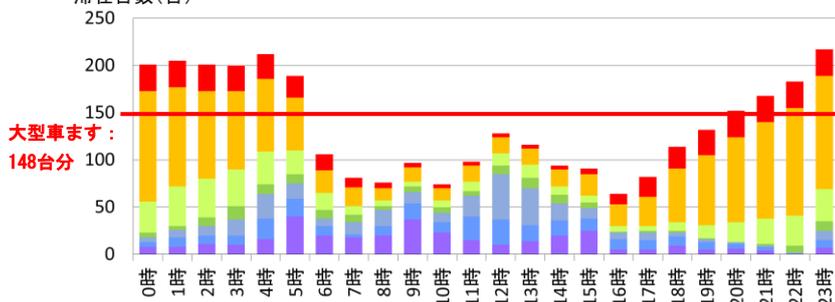
■ 滞在時間別 滞在量比率*（大型車）

*滞在量(台・hr) = 駐車台数 × 駐車時間(分) / 60



■ 時間別滞在時間の推移（大型車）

滞在台数(台)



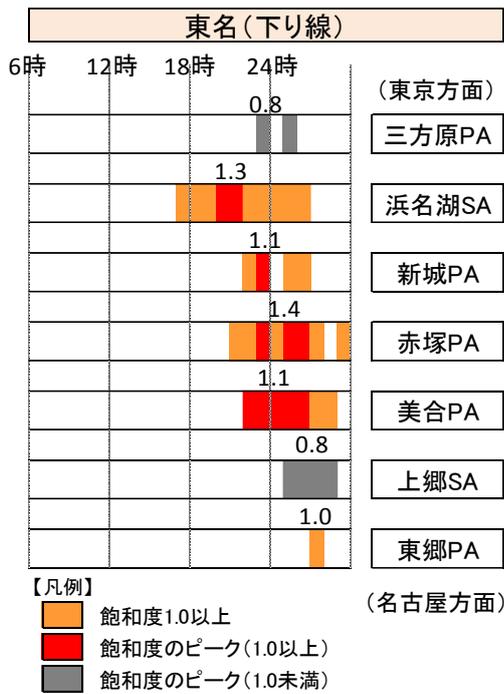
【滞在時間凡例】	
■	12時間以上
■	6～12時間未満
■	3～6時間未満
■	2～3時間未満
■	1～2時間未満
■	30分～1時間未満
■	30分未満

(3) 駐車容量の確保（遊休地を活用した駐車場の整備）

大型車駐車容量の確保のため、既存休憩施設における駐車スペースの拡充の他、旧豊橋本線料金所跡地の遊休地を活用し、近隣の休憩施設で大型車スペースの混雑が生じている、下り線に駐車場の整備をおこなっていきます。

また、確実な駐車スペースの確保を目的とした、駐車場予約システムの導入についても検討を進めていきます。

<付近の休憩施設混雑状況>



<旧豊橋本線料金所跡地>

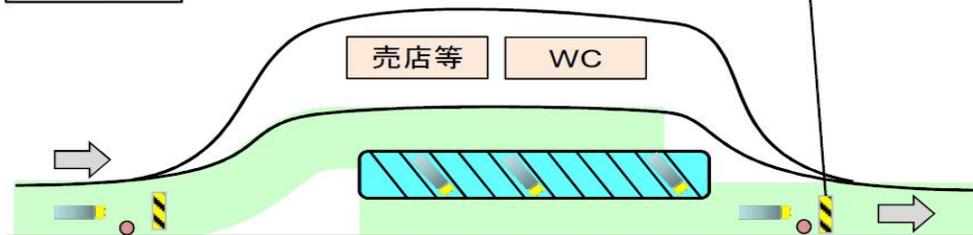


<予約システムのイメージ>

携帯電話などから予約

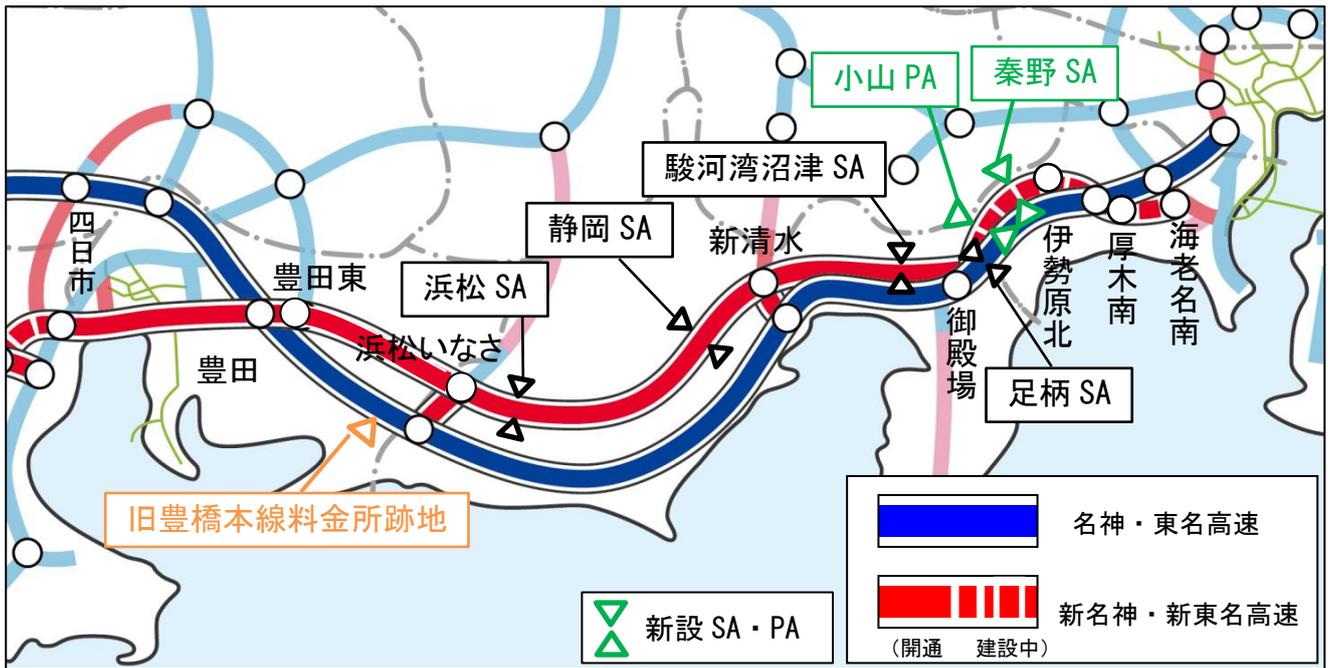


ETC2.0情報による判別



【凡例】 : 予約駐車場 ● : ETCアンテナ : ゲートバー

(参考) 東名・新東名の休憩施設の駐車ますの新設・増設見込み



※建設中の休憩施設名は仮称

○既存休憩施設における駐車ますの拡充

路線名	休憩施設	小型車ます	大型車ます
新東名	駿河湾沼津SA、静岡SA、浜松SA	約200台分	約250台分
東名	足柄SA	約100台分	約50台分
合計		約300台分	約300台分

○OSA・PAの今後の新設予定

路線名	休憩施設	小型車ます	大型車ます
新東名	秦野SA (本線建設中)	約300台分	約100台分
	小山PA (本線建設中)	約100台分	約100台分
合計		約400台分	約200台分

※上記以外に、旧豊橋料金所跡地（下り線）で駐車場を整備します。

※数量は、現時点での想定であり、今後設計・工事を進める中で変動する可能性があります。